

# 教育委員会提出議案

## 第13号議案

令和3年度の重点について

上記の議案を提出する。

令和3年5月11日

豊島区教育委員会教育長 金子 智 雄

(説 明)

教育を取り巻く社会の動向、社会状況の変化等を踏まえて、教育委員会が特に重点的に取り組む必要がある事項について「令和3年度の重点」として決定する。

(資 料)

別添のとおり。

## 令和3年度の重点について

「豊島区教育ビジョン2019」に掲げた基本方針に基づき、時代の要請に応える教育改革と教育の質の向上を目指すために、教育を取り巻く社会の動向、社会状況の変化等を踏まえて、教育委員会が特に重点的に取り組む必要がある事項について「令和3年度の重点」として決定する。

【としま教育ビジョン2019 令和3年度の重点を実現するための3つの柱】

### 柱1 SDGsの理念に基づいた教育の実践

- ◇SDGs未来都市として、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、様々な違いを認め合い、個々の成長を促し支える教育を目指す。
- ◇子どもたちに将来必要な力を確実に身に付けさせる教育を実現するために、全小・中学校の教育課程に「SDGs達成に向けた学校の取組」を位置付けるとともに、各教科等の学習内容とSDGsを関連付けた教育活動を推進する。
- ◇SDGs達成に向け、区長部局と連携し、各学校の特色を活かしつつ、学校と地域が一体となった取り組みを推進する。

### 柱2 新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底

- ◇新型コロナウイルス感染症対策が続く中、幼児・児童・生徒・保護者等の不安の解消に向けて、感染症対策の最新の知見に基づく各種情報の共有ができるよう、学校と教育委員会のより一層の連携体制を強化する。
- ◇幼児・児童・生徒が、新型コロナウイルス感染症に対して正しく理解し、適切な行動がとれるよう発達段階を踏まえた指導を行う。また、「感染症を経つこと」、「感染経路を断つこと」、「抵抗力を高めること」を徹底し、集団感染リスクへの対応を行う。

### 柱3 教育のICT化の推進

- ◇Society5.0の到来を見据えた人材を育成するために、子どもたちの情報活用能力を向上させる教育を目指す。
- ◇ICTを効果的に活用して、学習活動の量的・質的な充実や個に対応した教育を推進し、わかりやすく深まる授業を実現する。
- ◇教職員がICTを活用した情報共有により、きめ細やかな指導を行うことや校務の負担軽減等を推進する。

## 【令和3年度の重点】

### 基本方針1 生きる土台となる就学前教育の充実

#### ■ 就学前教育・保育の内容の充実

質の高い教育・保育を目指し、幼児の心身の調和のとれた発達を支え、幼児一人一人を大切に、友達と共に育ち合う教育・保育の充実に向けて、連携・協力して取り組む。

区立幼稚園については、就学前期のそれぞれの時期にふさわしい指導の在り方を研究するとともに、区長部局と連携し、分園型の「認定こども園」の設置実現を目指す。

### 基本方針2 確かな学力の育成

#### ■ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

各教科等の指導においては、単元や題材などの内容やまとまりを見通しながら、児童・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進める。また、児童・生徒に必要なとされる資質・能力を育むため、これまでの授業実践や蓄積を生かしつつ、新たにタブレットPC、デジタル教材を活用した多様で質の高い学習スタイルを研究・検証する。

児童・生徒の学習に関する課題を解決するための方策を示した「授業改善推進プラン」を活用し、実施、評価、改善のサイクルの確立により、授業改善の取り組みの一層の充実を図る。

学校に指導主事等を派遣し、学校が抱えている諸課題の解決に向けた指導・助言を行い、各校の授業改善に資する研究・研修を推進する。

#### ■ 情報化に対応した教育の充実

児童・生徒一人1台タブレットPCの環境を効果的に活用し、授業の質の向上を図るとともに、発達段階に応じたICT活用能力や情報モラルの育成を推進する。

デジタル教科書や他のデジタル教材の活用、家庭学習とリンクした取組を積極的に推進し、教育委員会と学校が連携してICT活用週間の実施や優れた授業・教材のライブラリー化を促進する。

### 基本方針3 豊かな心の育成

#### ■ 道徳教育の充実

「特別の教科 道徳」はもとより、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動等のそれぞれの特質に応じた道徳教育の一層の充実を図り、将来、社会において生きていく上で求められる道徳的な価値観や人間としての在り方生き方に関する意識を深める教育活動を展開する。

#### ■ 自己肯定感を高める教育の推進

自己への肯定的な気付きを高めるため、子どもたちが成就感や達成感を味わう機会や、他者から認められる取り組みを推進する。

## 基本方針4 健やかな体の育成

### ■生涯にわたって運動に親しむ態度の育成

児童・生徒の健康や体力を保持増進していくため、効果的な指導方法の開発や、実践的な研修を推進する。特に長期の臨時休業によって低下した体力については、体育・保健体育の授業にとどまらず、教育活動全体で段階的、継続的に取り組む。

学校は、運動が「好き」な児童・生徒を増やすために、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けた学習展開を行い、児童・生徒が運動や健康づくりに関する関心を高め、自ら取り組む態度を育成する。

## 基本方針5 一人一人を大切にす教育の推進

### ■いじめ防止対策の充実

豊島区いじめ防止対策推進条例」及び「豊島区いじめ防止対策推進基本方針」に基づき、「学校いじめ対策委員会」の機能を強化するとともに、保護者や地域、関係機関等と連携した「組織的ないじめ防止対策」を一層推進する。

いじめに関する教職員研修、児童・生徒がいじめ問題について自ら考え話し合う授業・SNSの活用について考える授業・人間関係に関する定期的なアンケート・校内心のケア委員会等、いじめの未然防止に向けた取り組みの充実を図る。

### ■不登校対策の充実

教育センター・指導課・区長部局が連携した相談支援体制を充実させるとともに、不登校対策会議の実施、心理士・SSWによる支援、タブレットPCによる心理面・学習面の双方の支援により、学校復帰や自立支援を基本としつつ、一人一人の児童・生徒の実態に応じた支援に努めた学びの場を確保する。

不登校対策検討委員会を設置し、豊島区としての不登校対策を講じて、不登校の未然防止、早期発見・早期対応等の早期支援の体制を整備して切れ目のない支援の充実を図る。

### ■特別支援教育体制の充実

インクルーシブな教育を推進するため、教員の特別支援教育への理解を深めることや、多様で柔軟な仕組みを備えた教育環境の整備を検討する。また、より丁寧な就学相談を進めるために専門職の専門性の向上やICTの利活用等、相談体制の強化を図る。

### ■日本語指導の充実

日本語指導が必要な児童・生徒が円滑に学校生活を送ることができるよう、日本語の習得に向けた初期指導を重視するとともに、発達段階に応じて段階的で系統的な指導の充実を図る。

## 基本方針6 教師力の向上と魅力ある学校づくり

### ■学校の働き方改革の推進

教員一人一人の心身の健康保持に向けて、教職員の人事体制と事務負担軽減を図り、教員の長時間労働の改善を含めたワーク・ライフ・バランスの実現につなげるとともに、学校教育の質の維持向上を図る。また、継続して「豊島区立学校における働き方改革推進プラン」に係る効果測定を行い、教育現場の状況に対応した働き方改革を進めていく。

### ■学校施設の長寿命化計画と学校施設の施設更新

学校施設に求められる機能・性能を確保するため、中・長期的な維持管理及び更新等の方針を示す「学校施設の長寿命化計画」を策定する。学校整備にあたっては、バリアフリーの確保や「35人学級」を見据えて、普通教室を確保するとともに、従来の改築に加えて改築校と同等の教育環境が実現でき、経費の抑制を図った豊島区版の長寿命化改修（スーパーリニューアル）を導入していく。

## 基本方針7 家庭と地域の教育力の向上

### ■地域ぐるみで学校を支援する仕組みづくり

子供たちが地域の協力を得て成長していくことができる体制の充実を図る。また、学校やスキップを拠点とし、コロナ禍でも安心して地域と連携・協働を推進するための組織的・継続的な仕組みの構築を進める。

豊島区の地域にあったコミュニティースクールの検討を行い、既存モデル校2校の本格実施を目指す。また、豊島区CSガイドラインの策定、活用により、CS本格実施校の拡大を図り、子供のよりよい育ちを地域ぐるみで支援する、質の高い学校教育の実現を図る。

## 令和3年度重点（第4回教育委員会臨時会）でのご意見を踏まえた主な修正箇所

## 【全体を通しての修正】

- 3つの柱に記載している内容（SDGs、新型コロナ、ICT）について、文言の重複を避けるため、必要な箇所以外、重点の記載内容から削除する等、文言を整理。
- 新学習指導要領を踏まえた文言に修正。

ご意見・ご指摘と修正	修正内容	令和3年度の重点（修正案）
<p>○SDGsの達成を目的とするのではなく、子供達を教育していく中でSDGsを達成していく表現にすべき。</p>	<p>○教育をしていく中でSDGsを達成する表現に修正。</p> <p>○基本方針5から転記。</p>	<p><b>【としま教育ビジョン2019</b> <b>令和3年度の重点を実現するための3つの柱】</b></p> <p><b>柱1 SDGsの理念に基づいた教育の実践</b></p> <p>◇SDGs未来都市として、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、様々な違いを認め合い、個々の成長を促し支える教育を目指す。</p> <p>◇SDGs達成に向け、子どもたちに将来必要な力を確実に身に付けさせる教育を実現するために、全小・中学校の教育課程に「SDGs達成に向けた学校の取組」を位置付けるとともに、各教科等の学習内容とSDGsを関連付けた教育活動を推進する。</p> <p>◇SDGs達成に向け、区長部局と連携し、各学校の特色を活かしつつ、学校と地域が一体となった取り組みを推進する。</p> <p><b>柱2 新型コロナウイルス感染予防対策の徹底</b></p> <p>◇新型コロナウイルス感染症対策が続く中、幼児・児童・生徒・保護者等の不安の解消に向けて、感染症対策の最新の知見に基づく各種情報の共有ができるよう、学校と教育委員会のより一層の連携体制を強化する。</p> <p>◇幼児・児童・生徒が、新型コロナウイルス感染症に対して正しく理解し、適切な行動がとれるよう発達段階を踏まえた指導を行う。また、「感染症を経つこと」、「感染経路を断つこと」、「抵抗力を高めること」を徹底し、集団感染リスクへの対応を行う。</p>

ご意見・ご指摘と修正	修正内容	令和3年度の重点（修正案）
<p>○新指導要領が本格実施となるため、新指導要領は大事な柱である。新しい指導要領の考え方を記載すべき。</p> <p>○GIGA スクール構想が入ったことによる方向性を示すべき。教員の働き方改革に繋げる視点も必要。</p>	<p>○GIGA スクール構想、学びの個別化に対応する文言を追記し、不要な文言を削除。</p> <p>○GIGA スクール構想の推進により、教員の働き方改革・負担軽減に繋げる旨を記載。</p>	<p><b>柱3 教育のICT化の推進</b></p> <p>◇Society5.0の到来を見据えた人材を育成するために、子どもたちの情報活用能力を向上させる教育を目指す。</p> <p><del>◇幼児・児童・生徒の健やかな成長と学びの連続を保障するために、学校のICT環境の整備を通じて、良好な教育環境を確保する。</del></p> <p>◇学校運営においてICTを効果的に活用して、時代の変化に対応した教育を実践するとともに、学習活動の量的・質的な充実や個に対応した多様な教育を推進し、わかりやすく深まる授業を実現する課題への対応を行う。</p> <p>◇教職員がICTを活用した情報共有により、きめ細やかな指導を行うことや校務の負担軽減等を推進する。</p>
	<p>○不要な文言を削除。</p>	<p><b>【基本方針1】</b></p> <p><b>就学前教育・保育の内容の充実</b></p> <p>□質の高い教育・保育を目指し、<del>公私立すべての幼稚園・保育所等において、</del>幼児の心身の調和のとれた発達を支援、幼児一人一人を大切に、友達と共に育ち合う教育・保育の充実に向けて、区長部局と連携・協力して取り組む。</p> <p>□区立幼稚園については、就学前期のそれぞれの時期にふさわしい指導の在り方を研究するとともに、区長部局と連携し、分園型の「認定こども園」の設置実現を目指す。</p>

ご意見・ご指摘と修正	修正内容	令和3年度の重点（修正案）
<p>○新指導要領の本格実施を受けて、カリキュラムの考え方を考える時期である。全体的に記載内容を切り替えた方が良い。</p>	<p>○ビジョンに沿った文言に修正。</p> <p>○GIGA スクール構想を受け、一人1台タブレットの活用について記載。</p>	<p><b>【基本方針2】</b></p> <p><b>■基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進</b></p> <p>□「基礎的・基本的な知識・技能の定着」の実現に向けた効果的な指導方法の開発や、実践的な研修を推進し、その成果を区立小・中学校に発信、普及する。また、コロナ禍であっても、タブレットPCを積極的に活用し各教科等の指導においては、単元や題材などの内容やまとまりを見通しながら、児童・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるを目指す。また、児童・生徒に必要とされる資質・能力を育むため、これまでの授業実践や蓄積を生かしつつ、新たにタブレットPC、デジタル教材を活用した多様で質の高い学習スタイルを研究・検証する。</p> <p>□学校は、児童・生徒の学習に関する課題を解決するための方策を示した「授業改善推進プラン」を活用し、実施、評価、改善のサイクルの確立により、授業改善の取り組みの一層の充実を図る。</p> <p>□学校に指導主事等を派遣し、学校が抱えている諸課題の解決に向けた指導・助言を行い、各校の授業改善に資する研究・研修を推進する。</p> <p><b>■ 情報化に対応した教育の充実</b></p> <p>□児童・生徒一人1台タブレットPCの環境を効果的に活用し、授業の質の向上と、学びを保障するために、学習活動の充実を図るとともに、発達段階に応じたICT活用能力や情報モラルの育成を推進する。</p>



ご意見・ご指摘と修正	修正内容	令和3年度の重点（修正案）
		<p>□児童・生徒と教員が同じ環境でICTを活用した授業を行うため、教員のタブレットPCを一人一台整備する。また、これまでの教育実践がICTによっていかにされるようデジタル教科書や他のデジタル教材の活用、家庭学習とリンクした取組を積極的に推進し、<b>教育委員会と学校が連携して</b> ICT活用週間の実施や優れた授業・教材のライブラリー化を促進する。</p>
<p>○データから、自己肯定感が低いことがわかる。その結果を踏まえて記載すべき。</p>	<p>○各教科の特質に応じ、それを通して道徳教育の一層の充実に繋いでいく旨を記載。</p> <p>○「自己肯定感を高める教育の推進」について新たに項目立てし、自己肯定感を高めるための取組みの推進を記載。</p>	<p><b>【基本方針3】</b>  <b>■ 道徳教育の充実</b></p> <p>□「特別の教科 道徳」においては、効果的な指導方法を区立小・中学校で共有し、授業改善の取組みの一層の充実に図る。  「特別の教科 道徳」はもとより、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動等のそれぞれの特質に応じた道徳教育の一層の充実に図り、将来、社会において生きていく上で求められる道徳的な価値観や人間としての在り方生き方に関する意識を深める教育活動を展開する。</p> <p><b>■ 自己肯定感を高める教育の推進</b></p> <p>□学校における道徳教育の全体計画をに基づき、「特別の教科 道徳」と各教科、総合的な学習の時間、特別活動等を関連付けて計画的・継続的に指導することにより、学校と家庭、地域が連携・協力した道徳教育を推進する。  自己への肯定的な気付きを高めるため、子どもたちが<b>成就感や達成感を味わう機会や、他者から認められる取組みを推進する。</b></p>

ご意見・ご指摘と修正	修正内容	令和3年度の重点（修正案）
	<p>○コロナ禍での学習活動の状況を踏まえ文言を修正。</p>	<p><b>【基本方針4】</b>  <b>■生涯にわたって運動に親しむ態度の育成</b></p> <p>□児童・生徒の健康や体力を保持増進していくため、効果的な指導方法の開発や、実践的な研修を推進する。特に長期の臨時休業によって低下した体力については、体育・保健体育の授業にとどまらず、教育活動全体で段階的、継続的に取り組むみ、向上を目指す。</p> <p>□学校は、<b>運動が「好き」な児童・生徒を増やすために、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けた学習展開を行い、学校行事も含めた、全体で取り組む体力向上にかかわる目標や、具体的な活動内容を計画的に実施して、児童・生徒の運動の質と量の確保に努めるとともに、児童・生徒が運動や健康づくりに関する関心を高め、自ら取り組む態度を育成する。</b></p>
		<p><b>【基本方針5】</b>  <b>■いじめ防止対策の充実</b></p> <p>□豊島区いじめ防止対策推進条例」及び「豊島区いじめ防止対策推進基本方針」に基づき、「学校いじめ対策委員会」の機能を強化するとともに、保護者や地域、関係機関等と連携した「組織的ないじめ防止対策」を一層推進する。</p> <p>□いじめに関する教職員研修、児童・生徒がいじめ問題について自ら考え話し合う授業・SNSの活用について考える授業・人間関係に関する定期的なアンケート・校内心のケア委員会等、いじめの未然防止に向けた取り組みの充実に努める。</p>



ご意見・ご指摘と修正	修正内容	令和3年度の重点（修正案）
<p>○「重点を実現するための3つの柱」に記載している内容について、文言の重複を避けるため、必要な箇所以外、重点の記載内容から削除する等、文言を整理した方が良い。</p>	<p>○重複を避けるため、ICT活用に関する記載を削除。</p> <p>○SDGsの推進の記載を、「重点を実現するための3つの柱」に転記。</p>	<p><del>□日本語教育をオンラインでも実施できるようICT環境及び体制を整備するとともに、指導面における効果的な活用方法等を検討する。</del></p> <p><b>■SDGsの推進</b>  <del>□区長部局と連携し、学校と地域の特色を活かしながら、子どもと学校、地域を中心としたSDGs達成に向けた取組みを推進する。</del></p>
		<p><b>【基本方針6】</b></p> <p><b>■ 学校の働き方改革の推進</b></p> <p>□教員一人一人の心身の健康保持に向けての実現と、教職員の人事体制と事務負担軽減を図り、教員の長時間労働の改善を含めたワーク・ライフ・バランスの実現につなげるとともに、学校教育の質の維持向上を図る。また、<b>継続して</b>在在等時間の分析及び「豊島区立学校における働き方改革推進プラン」に係る効果測定を行い、教育現場の状況に対応した働き方改革を進めていく。</p> <p><b>■ 学校施設の長寿命化計画と学校施設の施設更新</b></p> <p>□学校施設に求められる機能・性能を確保するため、中・長期的な維持管理及び更新等の方針を示す「学校施設の長寿命化計画」を策定する。<b>学校整備にあたっては、バリアフリーの確保や「35人学級」を見据えて、</b>に対応するための普通教室を確保するとともに、従来の改築に加えて改築校と同等の教育環境が実現でき、整備に必要な経費の抑制を図ることができる、<b>つた</b>豊島区版の長寿命化改修(スーパーリニューアル)を導入していく。</p>

ご意見・ご指摘と修正	修正内容	令和3年度の重点（修正案）
<p>○重複を避けるため、ICT活用の文言を削除。</p>	<p>○重複を避けるため、ICT活用の文言を削除。</p>	<p><b>【基本方針7】</b></p> <p><b>■ 地域ぐるみで学校を支援する仕組みづくり</b></p> <p>□<del>ICTを活用し</del>、子供たちが地域の協力を得て成長していくことができる体制の充実を図る。<del>また</del>、学校や及びスキップを拠点とし、コロナ禍でも安心して地域と連携・協働を推進するための組織的・継続的な仕組みの構築を進める。</p> <p>□<del>また</del>、豊島区の地域にあったコミュニティースクールの検討を行い、既存モデル校2校の本格実施を目指す。また、豊島区CSガイドラインの策定作成、活用により、CS本格実施校の拡大を図り、子供のよりよい育ちを地域ぐるみで支援する、質の高い学校教育の実現を図る。</p>